農畜産物の統一ブランド化

青果育種研究会・第144回品種見本市

長寿日本一・長野でアピール

会場で野菜についてメーカー側に質問する生産者

青果育種研究会の第144回品種見本市は9月10日、松本市公設地方卸売市場で開かれ生産者、種苗仲卸、行政関係者など多数が参加した。

株式会社・長印、長野県連合青果株式会社の協力で開かれたもので「長寿と野菜～その素敵なマリアージュ」をテーマに、長野県農政部農業政策課の長谷川正之・企画幹の「長野県産農産物の統一ブランド化」についての講演を聴いた後、種苗メーカーや資材メーカー14社が長野県に合った野菜を紹介、生産者は個々の種特性などを熱心に聴き出していた。

信州の農畜産物を紹介する小冊子類

講演は長野県産農産物の統一ブランドとして、男女とも長寿日本一となったことを基調に『長寿日本一の恵み　おいしい信州ふーど（風土）』というキャッチフレーズを作成した。作成には県内外からの意見を集約した。

特に県外からの意見として4人の大使を任命した。東京都出身で、現在は東御市でワイナリーを経営している玉村豊男氏、福島県出身で、発酵食品が専門の東京農業大学名誉教授・小泉武夫氏、鹿児島県出身でフランス料理シェフの中村勝宏氏、京都府出身でパティシエの鎧塚俊彦氏の面々。

『長野県産』だけでも統一ブランド化は図れるとの意見もあったが、より具体的、客観的に長野県の農産物のイメージ化を図り、認知度を上げるために、長野県出身者ではないが、食の知識と食への強力な発信力を持つ4人に大使を依頼するなどして、キャッチフレーズを作り上げた」と、その経過を説明した。

長野県は平地が少なく、農産物産出額の1位はコメではなく、野菜。2位は果実、3位はきのこ。

講演の後に行われた野菜の展示会では、トマト、ダイコン、ハクサイ、キャベツ、ブロッコリー、レタス、コカブなどが所狭しと並べられた。各種苗メーカーとも長野県で生産した自社品種を出品、生産農家にアピールしていた。

生産農家も、県の推進するブランド化に対応した品種を選択しようと、メーカーに熱気にあふれた質問をぶつけていた。また、ある生産農家は「TPP交渉がどのような方向に進むか分からないが、自分の農業経営に合った品種特性をよく把握して、しっかりした農業基盤を作りたい」と、展示品を手に取りながら、今後の作付け品種を吟味していた。

◇

《参加メーカー》

タキイ種苗、武蔵野種苗園、みかど協和、大和農園、サカタのタネ、トーホク、ナント種苗、雪印種苗、カネコ種苗、横浜植木、福井シード、渡辺採種場、トキタ種苗、住友ベークライト

（順不同）

長野県は「野菜・くだもの・花き」の園芸王国。生産量全国上位に、野菜ではレタス、セルリーなど11品目、果実はリンゴ、ブドウなど9品目、きのこはエノキダケなど5品目。この中には長野県が開発したリンゴの「シナノスイート」や「シナノゴールド」など。農産物以外では「信州サーモン」や「信州黄金シャモ」もある。

長野県ではこれまで酒類の長野県原産地呼称管理制度、信州プレミアム牛肉認定制度、伝統的な郷土食・野菜の信州伝統野菜認定制度を設け、品質の高い農産物や農産物加工品を提供してきた。

しかし、おいしい食べ物がたくさんありすぎて、統一イメージが湧かない―という声に対して、県民が内外に自信を持って発信できる「統一ブランド化」構想が持ち上がった。

「おいしい信州ふーど（風土）」の表紙

「おいしい信州ふーど（風土）」互いのいいものをシェア

長野県農政部農業政策課
長谷川正之・企画幹

プレミアム（管理・認定制度）、オリジナル（オリジナル品種）、ヘリテイジ（県選択無形民俗文化財）を基準に食を厳選。「おいしい信州ふーど（風土）」の統一ブランドでアピールすることになった。

おいしい食べ物が多いことの裏付けとして、耕地の80％が500m以上の高地にあり、昼夜の寒暖差が大きく、日照時間が長いことなどが野菜栽培に適している。

それを信州人の勤勉性と技術開発・品種更新が支えている。

またフォッサマグナで東西の文化が交錯する位置にあることで、継承されている伝統野菜が多くある。

長谷川正之・企画幹

長野県は平成22年に男女とも長寿日本一になった。こうした豊富な郷土食は、地域で、足りない栄養素の補充を考えながら伝承され、栄養をバランスよく摂取している。これがこういう結果をもたらす理由のひとつになっていると思われる。

長野県の農畜産物をブランド化するのは、他県との差別化を図ることだが、お互いにいいものを共有（シェア）することでもある。ともにいいものを認め合い、競い合っていきたい。

日本種苗新聞
発行所 株式会社日本種苗新聞
〒400-0047 甲府市総行4-14-22
電話 055-235-7329
FAX 055-237-5751
振替 00460-8-358
E-mail info@seed-news.co.jp

F1から単種まで
委託専門採種
長野県信州新町
株式会社
信州山峡採種場
TEL 026-262-2313
FAX 026-262-2342

丸種綜袋
〒601-8113
京都市南区
えぶくろ 上鳥羽南苗代町
TEL (075)671-1000
FAX (075)671-8280

紙面ガイド

第2面
・社説
・「農研機構技術 2013」15
・生命の観察 高山覚 覚書91
・花き研 研究トピックス4
第3面
・JA秋田おばこ 米による多彩な転作
・「光る花」産・学・官の共同研究によって開発
・東北農研「えみのあき」を育成
第4面
・神奈川県24年度野菜品種展示ほ成績3
・この病気にはこの野菜3